



◀ そのほかの取材記事はこちらから ▶

山田 恵美 赤こんリポーター

協力隊員の活動を紹介
「地域おこし協力隊パネル展」

近江八幡では「移住・定住」「離島振興」「観光まちづくり」「文化・芸術振興」などをテーマとして市内各地で地域おこし協力隊が活動をしているのを知っていますか。6月6日、近江八幡図書館で始まった「地域おこし協力隊活動紹介パネル展」へ訪れました。

このまちで暮らし、まちの未来を想いながら活動されている協力隊員。一人ひとりの取り組みが分かりやすく展示されており、時間も忘れてじっくり眺めてきました。地域を変える力としてそれぞれの経験や能力を生かし、今後も活動してくださることに期待しています。

向坂 奈穂美 赤こんリポーター



みんなでわいわい 「おむすび食堂」大盛況

老蘇コミュニティセンターでは「おむすび食堂」が毎月開催されています。取材した5月28日は、60人以上が参加しました。小学1～6年生の子どもたちがたくさん集まって大にぎわいでした。

子どもたちは1人ずつ温かいごはんを受け取ると、「今日はどの味にしようかな」とワクワクした表情で好きなふりかけを選びます。自分のおにぎりを丁寧に握って、全員揃ったら「いただきます」。みんなでわいわい食べる楽しいひと時を過ごしていました。



松村 美沙枝 赤こんリポーター



子どもも大人も楽しむ PTA

PTAの役割として一番大きな仕事は、PTAの収益で子どもたちが遊ぶ活動をサポートすることですが、昨今は保護者の負担が大きく、活動自体が難しくなっているのが現状です。そんな中、北里幼稚園 PTA では昨年からマルシェの開催にチャレンジしています。ただ資金を集めるだけでなく、大人も嬉しいハンドメイド品の販売や子どもが遊ぶワークショップなどもあり、園に通う親子だけでなく地域みんなが楽しめる、新しい形の活動となっています。

西野 康代 赤こんリポーター



沖島小学校でオープンスクール

日本で唯一、湖の有人島にある小学校、それが沖島小学校です。沖島に住んでいる小学生は4人の兄妹。そのほかの13人は島外から船で通っています。近江八幡市内からであれば、希望すれば誰でも通学できます。そんな小学校での日常を見てもらおうと、沖島小学校では毎年2回、オープンスクールが開かれています。

この日は主任児童委員さんによる「おしゃれなおたまじゃくし」の布芝居と沖島太鼓の発表がありました。沖島小学校の子どもたちは一人ひとりが楽しんで学校生活を送っていることがよく伝わってきました。



市内のイベント情報ははこちらから ▶

5月28日

「子どもの読書環境充実に」
(一財)村松報恩会から870万円の寄付

村松報恩会は、平成元年から市立小学校や図書館の児童図書の充実のために、毎年多額の寄付をいただいています。今年はさらに新市庁舎2階に設置する「子ども読書スペース」の備品と児童図書購入に500万円寄付いただきました。

贈呈式で、村松安雄理事長は「子どもの成長に読書が果たす役割は大きなものがあり、子どもたちが健全に育つ役割になればうれしい」と話されました。

小西市長は「長年にわたるご支援に心から感謝しています。新しい読書スペースも大切に活用させていただきます」と謝意を述べました。

6月3日

本市の初夏の花「むしゃりんどう」を
ヨシペンで描こう！

本市の武佐地域で発見されたのが花の名前の由来といわれ、初夏の花として選定されている「武佐竜胆^{むしゃりんどう}」。地元で栽培活動に取り組む「むしゃりんどう保存会」が普及活動に力を入れており、小学生によるむしゃりんどうの描画は今年で6年目になります。

武佐小学校の3年生の子どもたちは真剣な表情でヨシペンを握り、墨を付けてヨシ紙に書かれた下絵をなぞり、色を塗りました。完成した絵を前に、子どもたちは「初めてヨシペンを使ったけど楽しかった」「きれいにできてうれしい」と笑顔で話していました。

5月25日

障スポバレーボール（身体（聴覚）障害の部）
リハーサル大会を開催

今秋、本市で開催される「わた SHIGA 輝く障スポ」の本番に向けて、「バレーボール（身体（聴覚）障害の部）」のリハーサル大会が運動公園体育館で開催されました。兵庫県、大阪市、滋賀県の代表チームが参加し、日頃の練習で培ったチームワークと技術を存分に発揮しました。

ルールやコートのはしらは通常のバレーボールと同じですが、コミュニケーションとしてアイコンタクトやジェスチャー、手話などを用いることが特徴です。アタックやブロック、レシーブなど白熱したプレーの連続に、会場全体が一体となって盛り上がりました。

6月5日



地域おこし協力隊に小池さんが着任

観光まちづくりの地域おこし協力隊として、小池^{まさみち}正通さんが6月1日付けで着任し、委嘱状の交付式が行われました。小池さんは、東京都から転入。これまで、大手出版社や大手学習塾で編集や新規事業開拓に携わり、退社後は、教育コンサルやJリーグアカデミーなどの海外遠征コーディネートなどを行ってきました。

今後は、(一社)近江八幡観光物産協会の支援やインナーブランディングの推進、スポーツツーリズムの調査、企画に取り組む予定です。小池さんは「近江八幡に来てもらうだけでなく、地元の人と関わる機会を増やせるように頑張ります」と意気込みを語りました。